薬連ハイライト

令和８年　年頭所感

衆議院議員・薬剤師
逢坂　誠二

新春を迎え，全国の薬剤師の皆さまに心よりのご挨拶を申し上げます。日頃より地域医療の最前線で献身的に取り組まれている皆さまのご努力に，深く敬意を表します。

昨年７月の参院選挙では，党派は違いますが，本田顕子さんの２期目の当選を勝ち取ることができました。同じ薬剤師議員として大変嬉しく思うと同時に，岩月会長をはじめ皆さまの頑張りに心から敬意を表します。

近年は，医薬品の供給不安が続き，国民の不安も大きなものとなりました。必要な薬が必要な時に手に入らない状況は，医療の根幹を揺るがす重大な問題です。こうした困難な環境にあっても，現場では患者に寄り添い，代替薬の確保や処方変更への対応など，日々の調整を続けていただきました。皆さまの不断の努力によって，地域医療は辛うじて支えられています。改めて心より感謝申し上げます。特に製薬関連団体からは，薬価の毎年の引き下げを中止するよう強い要請が寄せられております。この実現にも力を注いでまいります。

同時に，薬剤師の専門性を一層発揮できる制度づくりが求められています。医療現場は，在宅の拡大，慢性疾患の増加，多職種連携の深化など，確実に構造変化が進んでいます。薬剤師が患者の「かかりつけ」として継続的に関わり，服薬支援から健康管理に至る包括的な役割を担うことは，地域に不可欠な機能です。国としても，現場の実態に即した制度整備と財源措置を講じることが責務だと考えております。

また，薬局や病院で働く皆さまの処遇改善も欠かすことができません。医療の安全は職場の安心と両輪であり，人への投資なくして持続可能な医療は成り立ちません。働く方々が誇りを持ち，安心して職責を果たせる環境整備に，引き続き力を尽くしてまいります。

本年が，薬剤師の皆さまにとって，新たな飛躍の一年となることを祈念し，新年のご挨拶といたします。

年頭所感

参議院議員・薬剤師
本田　顕子

謹賀新年

公益社団法人日本薬剤師会の皆様には，日頃よりご指導賜りますとともに，昨夏には多くのお力を結集していただき，ありがとうございました。

本年は午年。駆け抜けるほどの勢いと力強さをもって，確実に歩を進める年にしたいと思います。

中国の思想家荀子の「着眼大局着手小局」という言葉を恩師から以前教わりました。物事の全体像を俯瞰的に捉えて本質を見抜き（着眼大局），同時に，目の前にある具体的な課題一つひとつから着実に実行していく（着手小局）という解釈の言葉です。

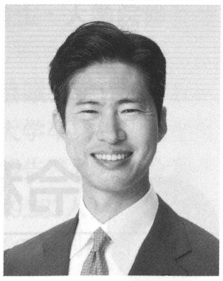
各年度の政府一般会計予算を始め国会の場で議論される政策の多くは，一定の時間軸を設定した上で，全体像（大局）を見失わずに，現下の課題（小局）と向き合って解決のための方策を積み重ねていきますので，国会議員として活動する中でこの言葉を大切にしています。

昨年10月に「今の暮らしや未来への不安を希望に変え，強い経済を作る」，「日本列島を強く豊かに，日本を再び世界の高みに押し上げる」という強いメッセージと共に，高市内閣が始動しました。

新たな連立の枠組みの下で他の野党とも協議を適宜重ねながらの国会運営は厳しい状況に変わりありませんが，物価高対策と賃上げ対応，創薬イノベーションの推進，流通改善，薬剤師の処遇改善及び不足・偏在の解消等々，薬剤師や薬業界を取り巻く現下の諸課題の大局を見失うことなく，補正予算の円滑な執行，薬価・報酬改定や新年度予算等々による適切な評価と支援策を小局として，課題の一つひとつを丁寧にかつ力強く解決に導き，国民のいのちと暮らしを守ってまいります。

日本薬剤師会の皆様にとって，本年が実り多き1年となりますことをお祈り申し上げ，年頭のご挨拶といたします。本年もよろしくお願いいたします。

令和８年度年頭所感



参議院議員・薬剤師
神谷　政幸

新年明けましておめでとうございます。日本薬剤師会会員の先生方におかれましては，お健やかに輝かしい新年を迎えられたことと，心よりお慶び申し上げます。

また，日頃より温かいご支援を賜っておりますこと，この場をお借りいたしまして，深く御礼を申し上げます。

昨年の通常国会では厚生労働委員会で２度，消費者問題に関する特別委員会で１度質問に立ちました。厚生労働委員会では薬機法改正の審議が行われ，医療用医薬品等の安定供給体制，国民への医薬品の適正な提供のための薬局機能の強化，医薬品等の品質及び安全性の確保，より活発な創薬が行われる環境の整備等について審議が行われ，２度の機会でほぼ全ての項目について質問できたことは，薬剤師議員として感慨深いものがありました。

６月13日に閣議決定された骨太2025では，原案の段階で薬局が有する情報の標準化と「デジタル化」を進めると記載されていた箇所が，政調全体会議での党内議論を踏まえ「DX化」に修正されました。デジタル化は業務や作業を効率化・自動化することを目的に行われます。薬局ではすでに電子薬歴等のDX化が進んでおり，データやデジタル技術を活用した業務変革のさらなるDX化によって，薬局が有する情報活用の幅の拡がりが期待されます。

この度，昨年10月22日高市内閣において厚生労働大臣政務官（労働・福祉・年金担当）を拝命しました。安心して働ける労働政策や国民生活を支える社会保障等，国民の皆さまの生活を生涯にわたって支える厚生労働行政の一翼を担い，大臣政務官としても全力で取り組んでまいります。

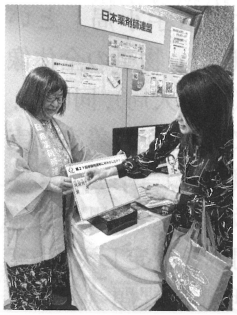
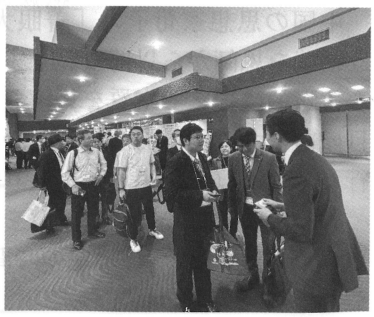
安心・安全な薬物療法の提供等にご尽力されておられる先生方のお役に立てるよう，本年もしっかりと仕事をしてまいります。引き続きご支援の程，よろしくお願い申し上げます。

日本薬剤師会会員の先生方の益々のご活躍と，会員の皆さまにとって本年が素晴らしい一年となりますよう祈念申し上げ，新年の挨拶といたします。

日薬学術大会に日本薬剤師会連盟ブースを出展！

令和７年10月12日（日）・13日（月・祝），京都府の国立京都国際会館にて開催された第58回日本薬剤師会学術大会において日本薬剤師連盟ブースを出展した。

昨年７月の参議院選挙において，皆様のご支援により再選を果たした本田あきこ参議院議員，また次期参議院選挙における組織内統一候補に決定した神谷まさゆき参議院議員の両薬剤師議員が，２日間ほとんどの時間をブースに立った。訪れた約1,500名の参加者と意見交換や写真撮影を行い，現場の声や訴えを参加者から直接聞くとともに，直近の課題や活動内容について伝えることができた。

ブース周辺では，昨年７月の第27回参議院選挙で投票に行ったかどうかをボードにシールを貼って回答する調査を行い，479名のうち462名が行ったと回答いただいた。また，Googleフォームを使った「日本薬剤師連盟・薬剤師議員に求めることは？」アンケート（匿名）を実施し，129名の方に回答いただいた。37件の応援コメントや，要望意見が62件寄せられ，「薬剤師議員をもっと増やしてほしい」など具体的な要望も多数あった。いただいたご意見はしっかりと今後の活動に活かしていきたい。

当日の様子は日本薬剤師連盟機関紙『POWER！１月号』に掲載を予定しているので，ぜひご覧いただきたい。